

令和3年度（2020-2021シーズン） アルペン競技会伝達事項

競技本部アルペン部

1. 愛知県スキー連盟主管競技 競技方法について
2. アルペンマテリアルルールについて
3. アルペンポイント内規
4. 愛知県スキー連盟代表選手選考基準について
5. SAAアルペンスキー強化指定選手選考基準と強化支援内容
6. FIS公認大会・SAJ公認大会（B級・ユース）エントリーの流れについて

1. 愛知県スキー連盟主管競技 競技方法について

- (1) 計時の方法 計時は電気計時装置で行う。
- (2) スタート (イ) GSLは、10秒前の音信その後5, 4, 3, 2, 1のカウント音、それから高音の発信音をスタート合図とする。競技者は定刻にスタートすること。アローワンス（前後5秒以内）は認める。
SLは、競技者に、「レディ」を伝え、2～3秒後に「ゴー」のスタート合図を与える。競技者は、「ゴー」の合図後5秒以内にスタートすること。
(ロ) スタート間隔は20～40秒程度。状況により不規則になるので注意すること。
(ハ) 棄権については空スタートなしでつめてスタートさせる。
(ニ) ストックは定位置についてスタートし、ストックの2度づきは行わないこと。またスタートバーにストック等で触れないよう注意すること。
(ホ) GSL・SL2本目のスタート順は1本目のタイムで決定し、掲示する。
リバースは基本30名（参加者数により変更有）とするがビブ順の場合もある
なお、2本目に出場できる選手名及びスタート順は掲示及び放送する。
- (3) インспекション (イ) その競技の出場選手、監督、コーチのみコース内への立ち入りを可とする。なお、必ずスキーを着用して実施し、旗門の中の通過滑走は禁止とする。（フィニッシュラインを通過すること）
(ロ) GSL・SL共に「上から1回のみ」行うことができる。
(ハ) 選手は必ずビブを携帯しなくてはならない。（614-3-2）
(ニ) インспекションの時間は、タイムスケジュール表による。
- (4) 公式掲示 (イ) 大会全般の公式掲示の位置は、原則として大会本部（各開催場のスキーセンター）とする。
(ロ) 競技会場において、ゴールエリアに掲示板を設置する。
(ハ) タイムはゴールエリア付近で非公式掲示（仮発表）をする。
(ニ) 旗門不通過等による失格は公示する。
(ホ) 非公式掲示に対し、審判票を審判後、各種別かつ、おおむね15分毎に公式掲示に切り替える。
- (5) 抗議等 (イ) 抗議は非公式掲示及び失格公示の後15分以内とする。
(ロ) 再レースについて
・ 役員の不手際や観衆、動物等のため競技を防げられた事による再レースの要求は3分以内にジュリーに申し出ること。（選手より口答で可）（623）
・ 再レースを要求する選手はその位置で競技を中止し、コースから外れ、旗門審判員に確認をとって、ジュリーに申し出ることを原則とする。（623-1-1）
・ 再レースを要求する選手は、必ずゴールを切らないこと。
- (6) 競技上の注意 (イ) 選手は競技中、コース内への立ち入りを一切禁止とする。
(ロ) スタート位置における点呼は10分前から行う。（行わない場合もある）
(ハ) 旗門不通過で明らかに失格となった競技者はその後の旗門を滑らないこと。（競技進行の妨げにならないよう、安全に低速でコース外に出ること）
(ニ) 途中棄権者は、旗門審判員に明確な意志表示を行いコースの外に出ること。
(ホ) 出場競技者は、SAJ競技用品規則に準拠したクラッシュヘルメットを着用すること。
(ヘ) GSL・SL共に必ずスキーブレイキを着装すること。
(ト) 前走は競技開始2～5分前にスタートさせる。
(チ) 追い抜かれそうになった競技者は、旗門審判員の呼びかけによって、ただちにコースをゆずること。スイッチバックは禁止（失格）とする。停止したらコースアウトする事。（SLは除く）
- (7) コース 原則として、女子、男子、ジュニア、一般とも同一コースとする。
- (8) コース整備 コース整備は競技中に随時整備を行うが、特に整備が必要と思われる時は競技を中断して整備することもある。この場合は放送等で連絡する。
- (9) その他の協力要請 (イ) フィニッシュエリアに立ち入らないこと。
(ロ) スタートハウス内は監督、コーチの立ち入りを禁止する。
(ハ) 大会当日における通常のトランシーバー及び無線機の使用は競技運営を優先する。
- (10) その他 (イ) GSL・SL共にシングルポールで行う。
(ロ) 競技開始時刻等の変更は、放送及び掲示板で知らせる。
(ハ) その他、SAJ競技規則に準拠する。（運営上大会特別ルールを優先することがある）
同一タイムの場合は後走選手を上位とする。
(ニ) 降雨等悪天候の場合、競技会の要項を変更することがある。
(ホ) ビブは、原則としてゴールエリア出口付近で回収する。（大会本部で回収する場合がある。）
(ヘ) プログラムは各チーム2枚の割合で配布する。（参加多数チームは多く配布する場合がある。）
(ト) 行事のエントリーリスト、スタートリスト、個人成績等を愛知県スキー連盟ホームページに掲載するので、氏名やクラブ名等を記載することが不都合の選手は、エントリー受付期間中に書面で申し出ること。

2. アルペンマテリアルルールについて

(1)SAJ 競技用品ルールについて

原則としてSAJが発表する競技用品ルール（年代別）に則ったものとするが、FIS及びSAJ公認大会及び全国大会等の予選会を除く愛知県スキー連盟主催の大会については、競技スキーの普及のため、ルールに縛られず出場を許可する場合もある。

(2)ヘルメットについて

全てのFIS及びSAJ公認大会では、新規格対応表示（FISステッカー[RH2013]）が明示されているヘルメットの着用を義務とする。新規格ヘルメットルールはDH、SG、GS競技に適用される。

公式用品ルール6.2.4によりヘルメットにはメーカー公式付属品以外の装着は禁止とする。

SLでは、ヘルメットの耳部分のソフトパッドの使用を認めるが、EN1077またはASTM2040認証が必須である。（SAJレースにおいては推奨）

但し、愛知県の代表を決める予選会・選考会および愛知県スキー連盟の主催する各大会は安全性を鑑みて新規格のヘルメット着用を推奨する。（上位大会に選抜された代表者においては当該の大会規定に従うこと）

また、劣化したヘルメットおよび安全性が確保出来ない恐れのあるヘルメットの着用は禁止とする。

3. アルペンポイント内規

(1)この規定は、愛知県スキー連盟（以下「SAA」という。）が主催し主管するアルペン競技の出場権及びシードに使用するSAAアルペンポイントに関して必要な事項を定めるものとする。

(2)SAAアルペンポイントの計算方法は、SAJポイント委員会の定める計算式に基づき計算する。

(3)SAAポイントが取得できる競技会は、別表1に定めるSAAが公認する競技会とする。

(4)各競技会のペナルティポイントは、別表1に定める区分のミニマムペナルティ及びマキシマムペナルティ、並びに別表2に定める種目別のマックス値に基づき算出する。

(5)各競技会のレースポイントは、SAA公認競技会の公式記録により算出し、このレースポイントに上記(4)により算出したペナルティポイントを加算した数値を各競技会の獲得ポイントとする。

(6)当年度のSAAポイントは、当年度のSAA公認競技会終了後、GSL競技については獲得ポイントの少数2競技を加算し2で割った数値、SLおよびPSL競技については少数1競技の数値とする。なお、GSL競技において、獲得ポイントが1競技のみの選手については、当該獲得ポイントの50%を加算した数値とする。

(7)前年度にSAAポイントが取得されていても、当年度の競技会において獲得ポイントが取得出来なかった選手は、前年度のベースポイントの100%を加算する。ただし0ポイントの選手については2ポイントを加算する。

(8)当年度のポイントランク第1位を0点に修正し、そのポイントを、次年度のベースポイントとする。

(9)次年度のベースポイントは、年鑑に掲載し、レースに反映させる。ただし、ベースポイントリストに掲載されている選手であっても、当該年度においてSAA登録されていない選手のポイントは無効とする。

(10)当該年度のSAAが主催し主管する競技会に、負傷・進学・受験・就職・転勤・病気入院等の理由のため、出場できなかった選手は、各所属団体の長がその理由証明書を、4月30日までにSAAにシングルペナルティポイント申請書を提出し、SAAアルペンポイント委員会が正当と認めた場合、当年度ポイントを確認し、次年度のベースポイントリストに採用するものとする。

(11)ポイント計算式（FISルール）

SAAのマックス値とミニマムおよびマキシマムペナルティポイントを採用して算出する。

$$P = (F \times T_x) / T_0 - F \quad (P = \text{レースポイント} \quad T_x = \text{競技者タイム} \quad T_0 = \text{ラップタイム})$$

(12)SAAポイントは、同一コース、同一セットで実施されたレースの参加者全体（男女別）で計算する。チルドレン、マスターズ等の区別をしない。（ポイントリストは男女別とする）

(13)2年連続で大会への出場が無く、ベースポイントが5,000以上となったものはノーポイントとし、次年度のベースポイントを付与しない。

(別表1) SAAアルペンポイント ミニマムペナルティ・マキシマムペナルティ

競技会		ミニマム ペナルティ	マキシマム ペナルティ
A級 大会	全日本A級マスターズ予選会 全国中学校予選会 国民体育大会予選会 常陸宮賜杯中部日本スキー大会予選会 ユース記録会I、II (K0・K1・K2) 愛知県アルペンスキー選手権 全国高等学校総合体育大会スキー競技会愛知県予選会	0.00点	999.9点
B級 大会	アルペンスキーフェスティバル 愛知県高校生スキー大会 ユース記録会III (K0・K1・K2) その他SAAが公認する競技会	60.0点	999.9点

(別表2) 種目別マックス値/F値 ※最新のSAJポイント委員会発行値に従う。

種目	GSL (大回転)	SL (回転)
ポイント/F値	220point/1010	165point/730

4. 愛知県スキー連盟代表選手選考基準について

(1) 国民体育大会／常陸宮賜杯中部日本スキー大会／全日本 A 級マスターズスキー大会

SAA 予選会に出場した選手（スタートバーを切った選手）の中から選考する。

- ・ SAA 予選会のクラス別着順位で出場順位を決定する。
- ・ 辞退があった場合は、クラス別に繰り上げ選考する。

(2) 全国中学校スキー大会

①前年度本大会入賞者(1～10位) ※特別シード権・出場枠男子3枠、女子2枠取得の場合

- ・ 当該年度の SAA シード選手とする。（ただし、当該年度の予選会にエントリーをした者とする。）

②前年度シード権取得者(11～20位) ※シード権・出場枠1枠取得の場合

- ・ 当該年度の SAA シード選手とする。（ただし、当該年度の予選会にエントリーをした者とする。）
- ・ 予選会の順位をもって SAA シード順位とする。

③SAA 予選会出場者

- ・ SAA 予選会の種目別着順位で出場順位を決定する。
- ・ 辞退があった場合は、クラス別に繰り上げ選考する。

(3) JOC ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアスキー選手権大会

SAJ からの通達（一部抜粋）

【出場資格】

K1：

- 1) 各加盟団体に割り当てられたエントリー数内で、加盟団体に選抜された競技者
- 2) 前年度本大会において 10 位以内に入賞した小学校 5 年生
(ア)今年度の本大会において特枠シードを与え、第 1 グループに加えて抽選を行う
- 3) PSL 出場者決定方法は後日発表する※

K2：

- 1) 各加盟団体に割り当てられたエントリー数内で、加盟団体に選抜された競技者
- 2) 各ブロックに割り当てられたエントリー数内で、各ブロックで選抜された競技者
- 3) 当該シーズンの全国中学校スキー大会各種目 3 位以内入賞者
- 4) 2005 年生まれで当該シーズンの全国高校スキー大会各種目 10 位以内入賞者
- 5) 当該シーズンの U16・14 国内強化指定選手
- 6) 前年度大会 K1 カテゴリーにおいて各種目 3 位以内入賞者（中学校 1 年生が対象）
- 7) PSL 出場者決定方法は後日発表する※

※ GS/SL 種目の上位入賞者 16 名程度の出場を予定

【予選・選考会】

・ K1 は各加盟団体にて選考会として 1 レースを設定し、そのレースの成績上位者より選考する。

・ K2 は各加盟団体にて選考会としてレースを設定し、

① 大回転 1 レース開催の場合は、そのレースの成績上位者より選考する。

② 大回転と回転のそれぞれ 1 レースを開催する場合は、それぞれの成績上位者、もしくは、総合成績の成績上位者を選考する。総合成績の決定方法は、加盟団体が決定し事前に参加者に告知する。

※加盟団体による予選会の設定は、加盟団体による独自予選会の主催を意味しない。他の加盟団体が主催する大会を、予選会として設定することも可能とする。

・ K2 については、加盟団体枠とは別に各ブロックに出場枠を与える。ブロック枠の選考については、前記加盟団体選考方法と同様とする。

・ 選考レースは、概ね 2 月中旬より、3 月 15 日までの開催とする。

・ 加盟団体およびブロック参加枠については、SAJ 競技者登録数に応じて按分する。

・ 出場希望人数が参加枠と同数もしくはそれ以下の場合は、予選会を実施する必要はない。

【ブロック区分】

東海北陸：富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重

上記を踏まえ、以下のように選考する。

① 上記 SAJ の規定により、個人出場枠を得た者。

② 2 月中旬から 3 月 15 日までにブロック内で行われるレースから選考レースを指定し、愛知県に割り当てられたエントリー数内で選考する。（どのレースを選考対象レースとするかは、1 1 月までに決定し、周知する。なお、愛知県スキー連盟が主催する大会とは限らない。）

③ 選考レースによる選考方法

K1

対象の GS レースの順位により、愛知県に割り当てられた加盟団体枠内で選抜し、選考する。

K2

【愛知県に割り当てられた枠が2以上の場合】

- a) GS・SL各種目で県内1位の選手に出場資格を与える。
- b) 上記以降の選手の選考は、GS・SLの合計タイムの上位者から出場資格を与える。
- c) 同タイムの場合は下記の順で選考する。
 - ①GS・SLのレースポイントが良い方を採用し、レースポイントが小さい方に出場資格を与える。
 - ②レースポイントが同ポイントの場合、4本のうちレース全体のトップとのタイム差が最も少ないものを採用し、タイム差が少ない方に出場資格を与える。

【愛知県に割り当てられた枠が1の場合】

- a) GS・SLの合計タイムの上位者から出場資格を与える。
- b) 同タイムの場合は下記の順で選考する。
 - ①GS・SLのレースポイントが良い方を採用し、レースポイントが小さい方に出場資格を与える。
 - ②レースポイントが同ポイントの場合、4本のうちレース全体のトップとのタイム差が最も少ないものを採用し、タイム差が少ない方に出場資格を与える。

【雪不足等の事情により、選考レースが行われなかった場合】

K2 競技者はSAJポイントリスト発行カレンダーで、大会申し込み期限（発表される大会要項に従う）直近のSAJ発表GSとSLのポイント合計が少ない者から、愛知県に割り当てられたエントリー数内で選抜し、選考とする。

K1 競技者は、本年度愛知県行事(GSL・SL)の結果からSAAポイントGSL・SL1レースずつ最小ポイントの合計が少ない者から、愛知県に割り当てられたエントリー数内で選抜し、選考とする。

【K2におけるブロック枠について】

東海北陸ブロックの規定に従う。

5. SAA アルペンスキー強化指定選手選考基準と強化支援内容

ランク	選考基準		SAA 強化支援内容
	カテゴリー	選考基準内容	
特別強化指定選手	男女共通 (年齢オープン)	(1) 全日本強化指定選手に選考された選手	SAA 主催・主管の行事の参加費全額免除及び役員同等の経費を支給
強化指定選手A	男女共通 (年齢オープン)	(1) 全国大会(マスターズを除くA級大会)入賞 ※ただしインカレは一部のみとする。 (2) 全国大会第1グループシード権獲得(全中、インターハイ、国体で15位以内)	SAA 主催・主管行事の参加費全額または半額免除 シーズン券特別割引(ほおのき平)
強化指定選手B	男女共通 (年齢オープン)	(1) 全国大会第2グループシード権獲得(全中、インターハイ、国体で30位以内、ただし国体成年女子Bは除く)	SAA 主催・主管行事の参加費全額または半額免除 シーズン券特別割引(ほおのき平)
強化指定選手C	男女共通 (年齢オープン)	(1) 全国大会(マスターズを除くA級大会)出場 (2) 全日本マスターズ大会入賞(10位以内) (3) 中部日本大会ポイント獲得(8位以内)	強化合宿参加費免除 シーズン券特別割引(ほおのき平)
強化指定選手Y	男女共通 (中学生以下)	(1) 全国大会出場 (2) 中部日本大会ポイント獲得(8位以内) (3) 小学生以下でSAAが強化として認めた選手 (男女各種目それぞれポイント上位2名)	強化合宿参加費免除

※2020年度は全日本マスターズ大会が中止となったため、2019年度の結果で選考した。

6. FIS公認大会・SAJ公認大会（B級・ユース）エントリーの流れについて

- ◎ FIS公認大会に出場するためには、SAA 会員登録・SAJ 会員登録・SAJ 競技者登録・FIS 競技者登録が必須です。
- ◎ SAJ公認大会に出場するためには、SAA 会員登録・SAJ 会員登録・SAJ 競技者登録が必須です。
- ◎ FISおよびSAJの大会をご検討いただく際に、東海北陸ブロックの大会を優先にご検討いただきますよう、よろしく
お願い申し上げます。

注) 上記SAJ・FIS競技者登録は時間がかかるため、早めに登録手続きを済ませてください。

また、各種登録番号は随時必要となりますので、いつでもわかる状態にしておいてください。

SAJ・FIS競技者登録番号等はSAJデータベースで確認できます。

1 SAJもしくは主催者のホームページに大会要項掲載
※必ずSAJもしくは主催者のホームページで大会要項をご覧いただき、参加資格等、内容をきちんとご確認ください。
愛知県スキー連盟締切日 大会事務局締切 10日前 （事前の連絡無く遅れたものは一切受け付けません）
(1) 申込み期間は、大会要項が発表されてから、 大会事務局締切10日前 までにお申込みください。 （東海北陸ブロックの締切が大会事務局締切10日前になるため）
(2) 10日前が県連事務局の定休日の場合、県連締切日は事務局の前営業日となりますのでご注意ください。
(3) 申し込みの意思があるが、引率や他の大会との兼ね合いで県連締切日に間に合わない場合は、 締切日の前日 までに fis.saj.entry@ski.aichi.jpへご連絡ください。
(4) お申し込みは必ずメールでお願い致します。 宛先 【fis.saj.entry@ski.aichi.jp】 件名 【カテゴリー（FIS・B級・ユース）】【大会名】【参加者名】 をご記入ください。 （必ず参加大会ごとにまとめてください。） 本文 【所属団体名・エントリー責任者名】 をご記入ください。 添付書類 愛知県スキー連盟のHP： http://www.ski-aichi.jp/ よりワードデータ 【FIS・B級・K1・K2】【大会名】【参加者名】.docx をダウンロードして、 必要事項を全てきちんとご入力いただき添付してください。 エントリーは、チーム責任者の了解のもと、エントリー責任者がまとめて申請してください。 必ず引率者が確定した上で、お申し込みください。
2 大会事務局締切日（必ず大会要項が発表されてから申し込んでください。）
(1) 各大会の締め切り日は、主催者の発表で確認ください。
(2) 県連事務局より大会事務局へ申し込めます。主催者の締め切り日の10日前までに県連へお申込ください。
3 大会エントリー確認
(1) エントリーオーバーの可能性がある場合は、必ず各主催者の発表を確認してください。
(2) エントリーできたかどうか、チームキャプテンが誰かの確認は、愛知県内のエントリー締切後、愛知県スキー連盟事務局に問い合わせてください。
4 大会前日 チームキャプテンミーティング（TCM）
(1) 当該レースにエントリーした選手、保護者、コーチの中から、愛知県のチームキャプテンを任命します。任命された方は、以下の業務を、責任をもってお願いします。 ※ブロック内は交通費等の経費として打ち切り補助があります。 ①アテンダンスリストの記入 ②ボードコントロール ③TCMへの出席と各選手への内容伝達 ④ビブの受け取りと県内選手への配付 ⑤その他（旗門員等大会役員）
(2) 愛知のチームキャプテンが誰になったかは、県連事務局に問い合わせてください。
(3) チームキャプテンを引き受けることができない場合は、必ずエントリーの際に連絡をしてください。
(4) 出場選手は必ずチームキャプテンと連絡をとり、ドロップやビブの受け取り等の処理を依頼してください。
5 大会当日
(1) いかなる理由でも、大会に出場出来ない場合は 必ず連絡 をしてください。 ・TCM3日前まで…県連事務局、愛知県チームキャプテンおよび担当者（以下） ・TCM前日・当日…当該レースの大会事務局、愛知県チームキャプテンおよび担当者（以下） FIS（国内、海外） 西 裕之（090-7911-9056） SAJ（B級・ユース） 加藤 宏（090-1713-9821）

【注意】 県連より大会申込の案内等の連絡はしていませんので、各自大会要項を確認していただき、申込期日の確認をお願いいたします。期日までに申込がない場合はエントリーできません。また、**大会要項が発表される前のエントリーもしない**でください。

エントリー代金は、**大会申し込みと同時に振込み**ください。県連締め切り日までに送金が無い場合、エントリーを受け付けません。

TCMへの無断欠席など、チームキャプテンや大会事務局等への迷惑行為があった場合は、**次の大会への出場停止などのペナルティを科す**場合があります。

※チームキャプテンになった場合、住所や電話番号などの個人情報が入力フォームに記載されます。